

## 二階 俊博

(社)全国旅行業協会会長

### エコツーリズムの推進について

ある日小池環境大臣が私の事務所を訪ねて下さって、環境省として省を挙げて「エコツーリズム」に取り組む決意を表明されました。アイデアと実行力に優れた小池大臣のことですから、相当やる気だなと思っておりましたが、短期間に立派な方針をまとめて頂きました。環境省として画期的な試みとして高く評価しております。

近年自然環境や地域文化の保護・活用の両立を図り、さらに地域経済の活性化にも役立てようとするエコツーリズムが、持続可能な観光利用に十分配慮した新しい旅行形態として注目を集めています。

地球レベルで環境問題が人類の生存にも関わる問題として深刻化している昨今、環境と経済の両立を図っていくことこそ、今日あらゆる産業分野に問われている重要なテーマであります。観光・旅行の分野も例外ではなく、エコツーリズムの推進はこの課題に応える有力な処方箋の一つであります。しかしながら、エコツーリズムに対する理解、エコツアーに関する情報、地域の行政や事業者が住民の理解を得つつ、エコツーリズムを実践していくためのノウハウなどまだまだ十分ではありません。エコツアーは全体のまだごく一部にとどまっているのが現状であると思います。

このたびのエコツーリズム推進会議において エコツーリズム憲章 エコツアー総覧 エコツーリズム大賞 エコツーリズム推進マニュアル モデル事業という5つの具体的な推進方策がまとまりました。いずれもエコツーリズムの普及定着にとって大きなインパクトのあるものと確信しています。

今後モデル事業推進の考え方にも示されているように、屋久島などの原生的な自然地域におけるガイドツアーのような典型的なエコツアーのみならず、里地里山の身近な自然や地域の生活文化を活用した旅行プログラムの開発、および多くの観光客が訪れる観光地における地域資源を保全活用した利用の推進すなわちいわゆるマストツーリズムのエコ化を図ることもエコツーリズムの底辺を広げるための主要課題であり、その際修学旅行には国際的なマナーの重要性やエコツーリズムの精神を大胆に取り入れることも大切であります。

(社)全国旅行業協会におきましても、全国各地の多くの会員がエコ

ツアーにも熱心に取り組もうとしていますが、当協会としてもこの推進会議の成果を会員に周知するとともに、地元の関係機関と連携しつつ、エコツーリズムの推進に今後積極的に取り組んでいきたいと考えています。